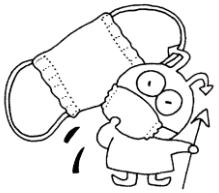


ほけんだより



平成24年1月18日
足立区立千寿常東小学校
校長 山田 誠



インフルエンザ・感染性胃腸炎

の流行が始まっています



空気が乾燥し、気温の低い日が続いています。

そろそろインフルエンザや感染性胃腸炎の流行が心配な季節となってきました。

足立区内の小中学校では、早くもインフルエンザでの学級閉鎖や学年閉鎖を実施した学校があり、本校でも今週に入って数人の欠席者が出始めました。

また、感染性胃腸炎については、冬休み明け頃から少しずつですが欠席者増加の傾向にあります。

インフルエンザも感染性胃腸炎も『ていねいな手洗い』が予防の基本となりますので、学校と家庭とで子供たちに励行させ、しっかりと予防していきましょう。

インフルエンザ

インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染することで起こる病気です。普通の風邪に比べ急激に発症し、症状が重いのが特徴です。

インフルエンザに感染すると、1～5日の潜伏期間の後、38度以上の高熱や筋肉痛などの全身症状が現れ、続いて咳、鼻汁などの症状が起こります。健康な人であれば、3～7日で治癒に向かいますが、気管支炎や肺炎を併発しやすく注意が必要です。

治療薬として抗ウイルス薬が処方されますが、発熱してから48時間以内に服用しないと効果がないので、タイミングを逃さず受診してください。

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎とは、主にウイルスを原因とする胃腸炎です。

原因となるウイルスは、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「サボウイルス」「アデノウイルス」などがありますが、症状だけでは原因となるウイルスを特定することが難しいため、総称して「感染性胃腸炎」と診断されます。

主な症状は、腹痛、下痢、嘔吐などの胃腸症状で、急激に発症しますが、回復は早めで数日で症状が治まる場合が多いです。

特別な治療薬はなく、胃腸症状を緩和するための処置（対症療法）が行われます。

嘔吐の症状が治まってきたら、少しずつ水分補給の務め、脱水症状にならないように気をつけましょう。

ウイルスに有効な薬品

- ・インフルエンザ
- ・感染性胃腸炎
- ・・・**アルコール**（手指の消毒に使用します。）
- ・・・**塩素性漂白剤（希釈したハイター）**
（嘔吐物で汚れた物を消毒する際に使用します。）